８　道徳教育全体計画（前期課程、後期課程）

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
県・市の教育方針
教育振興計画

教　育　目　標（めざす児童・生徒像）

心豊かに，しなやかで，進んで学ぶ子どもの育成

現代社会の要請
生徒の実態
家庭・地域の実態
教師の願い
保護者の願い

感動	優しく、礼儀正しく、感性の豊かな子ども	**自主**	自ら進んで学ぶ子ども	**忍耐**	変化に対応し、最後までやり抜く子ども

（前期課程）　道　徳　教　育　重　点　目　標　（後期課程）

道徳的実践力を身に付けた児童の育成
(1)よく考えねばり強く取り組む子
(2)命あるものを大切にし，思いやりのある子
(3)決まりを守り，けじめのある子

(1)人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う
(2)伝統的な文化を継承し，発展させ個性豊かな文化の創造に努めようとする態度を育成する
(3)豊かな心をはぐくむ
(4)民主的な社会及び国家の形成発展に努める人間を育成する

道徳教育の推進体制
道徳教育推進会議
・校長　・教頭
・教務主任　・研究主任
・道徳教育推進教師

各教科等の指導の重点

・基礎的，基本的な内容の習得を徹底し,つまずきがないように配慮するとともに,指導計画の改善充実に努め,意欲的に学習に取り組めるよう,より一層配慮する。
・児童生徒自らが問題を発見し,自らの力で問題解決に取り組めるよう集中力や粘り強さを育成するための指導法の改善,充実に努める。
・児童生徒がさらに意欲的に取り組めるような評価の方法の改善，充実に努める。

総合的な学習の時間

・自ら課題を見つけ,自ら学び,自ら考え,問題を解決する力などを身に付ける。
・情報の集め方,調べ方,まとめ方,報告や発表・討論の仕方など,学び方やものの考え方を身につけ,よりよく生きようとする態度の育成。
・自分の興味・関心に基づく課題に主体的に取り組むことを通して,自分の生き方を探求する態度を養う。

道徳

各学年の重点目標をふまえ,ひとりひとりの児童生徒の道徳的心情を豊かにし,道徳的判断力を高め,道徳的態度と実践意欲向上を図ることにより,道徳的実践力の育成を期する。

重点指導内容

【1・2年】
・あいさつなどの基本的な生活習慣や社会生活上のルールを身につけ,善悪を判断し,行動する態度を身につける。

【3・4年】
・集団や社会のきまりを守り,思いやりの心をもち,家庭や地域の一員として積極的に関わろうとする態度を身につける。

【5・6年】
・相手の立場を理解し支え合う態度を身につけ,集団における役割と責任を果たす。

【7年】・道徳性の育成に努める。
【8年】・人間の生き方についての自覚を深める。
【9年】・道徳的実践力の育成を図る。

生活指導の重点

・ひとりひとりの児童生徒を正しく理解し,児童生徒が生団生活に適応して楽しい学校生活ができるようにする。
・自己実現をめざす道徳教育の充実を図り,豊かな心情を醸成させる。
・日常生活の基本的な行動様式を修正し,けじめのある生活を徹底させる。
・家庭・地域社会との連携を通して,健康増進と安全教育の徹底を図る。
・児童生徒の理解に努め,適応指導の充実を図る。

食育指導の重点

各学年の心身の健やかな成長のために,望ましい食生活の定着を図る。
・はやね,はやおき,あさごはん
・いのちをまもろう
・きまりをまもろう

特別活動の指導の重点

【学級活動】
・よりよい生活を築くために課題を見いだし,協力して解決する自発的自治的な活動を行う。
・学級の一員としての自覚のもとに,責任もって行動しようとする態度を養う。

【児童会活動】
・異年齢による望ましい人間関係の形成や,よりよい学校生活づくりに参画する態度を育てる。

【生徒会活動】
・自発的,自治的な集団活動を通して,学校生活の充実と向上をはかる。

【クラブ活動】
・異年齢の交流を深め,協力して共通の興味や関心を追求する態度を育てる。

【学校行事】
・学校生活に秩序と変化を与える体験的活動を通して,望ましい人間関係を形成し,集団への所属感や連帯感を深め,公共の精神を養い,協力してよりよい学校生活を築こうとする自治的実践的な態度を育てる。

創意を生かした教育活動

・学校教育をより一層充実させるために,全体・前期後期課程・学級において,創意を生かした活動を実践する。
(環境教育・縦割り班活動、集会,交流活動,栽培活動等)

家庭との連携

・学校教育方針の理解と協力を得る。
・家庭,地域社会の意識や要望を把握し,学校の教育活動に生かす。（学校・学級だより,保健だより,授業参観・懇談会,幹事会など）

道徳的実践

基本的生活習慣の育成・道徳的態度の重視・望ましい人間関係

・　各教科,特別活動において道徳教育の補充,深化,統合を行い,さらに内面化することによって人間としての自覚を深め,道徳的実践力を養う。また,円滑な社会生活を送るためのスキルについて考える場とする。